市政を問う!!

一般質問という議員主導の政策論議



今回は15人でした

髙山 賢二 議長

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

広域農道の復旧工事が７月入札の理由は

答弁 工事設計書を作成し、国の審査を受け、７月入札となった



倉元 敏徳 議員

問 広域農道の復旧工事はガス管工事が終了しているが、未だ道路工事に着手していない理由は。

また、昨年請願が採択された在自山林道と遊歩道の対策について伺う。

答 被災後、本市は激甚災害指定を受け、国の簡素化査定が適用になったため、査定後に工事の詳細測量や実施設計を行う必要があった。国や県との詳細な協議を４月末まで行い、工事設計書を作成し、国の審査後、５月起工、７月の入札となった。

請願採択後、県と現地確認の結果、治山ダムの整備等は県においても難しいとの意見があり、排水側溝等の適正管理での対応とし、昨年のような災害への対処は現状では難しいと考えている。



▲ガス管工事終了後の広域農道

国が示した地域未来戦略、市の考えは

答弁 市の総合戦略と合致するものか、確認を行っていきたい



榎本 博 議員

問 地域未来戦略は施策の実行状況を具体化、高度化等が示されている。一方で福津市中小企業振興基本計画は、事業者が事業計画を策定した数や研修に参加した数を指標としている。しかし、事業者や創業者の収益増、継続性が示される指標が必要と考える。事業者の収益増が税収にどう影響するかが重要である。市の考えは。

答 次の総合戦略の策定の際には指標をどのように設定するのか、国の指標の考え方を念頭に置きながら検討する必要がある。またさまざまなまちづくり計画を策定、更新する中で、指標設定の課題と重要性をしっかり認識し、全庁的かつ前向きに取り組んでいきたい。



▲令和7年に改訂された総合戦略の計画書

心のＳＯＳを受け止める相談機能は

答弁 市に適した相談体制を総合的に検討する

石田 まなみ 議員

問 心のＳＯＳを受け止める相談支援の専門性や伴走支援の必要性は。

また、地域の気づきと行政の支援をつなぐ仕組みづくりは。

「ふくつこころと生き方の相談」の役割を踏まえ、心の悩みを抱える人への専門的な相談機能を今後どのように確保していく考えか。

答 心のＳＯＳを受け止める専門性や伴走支援は重要である。

地域の気づきと行政の制度が連携できる支援体制づくりに努めていく。

「ふくつこころと生き方の相談」は一定の成果があったと認識している。今後はさまざまな要素を総合的に考慮して、本市として適した相談体制を考えていきたい。



▲安心して相談できる福津市へ

いじめ対応には第三者的介入が必要では

答弁 必要性は感じているが慎重に考えて取り組む必要がある



山本 祐平 議員

問 こども家庭庁では、学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の実証事業を推奨している。その先進事例の寝屋川モデルを知っているか。

財政状況が厳しいからこそ国の実証事業に手を上げるべきでは。

答 寝屋川モデルは教育的アプローチ、行政的アプローチ、法的アプローチによる連携体制を取っている。いじめの早期発見と早期対応、保護者と児童・生徒の相談しやすい環境や教職員の負担軽減も期待される取り組みであると考えている。

本市にとっても有力な選択肢の一つとは受け止めている。まずは情報収集と国への相談を前向きに進めていきたい。



▲いじめ対応で成果を上げている寝屋川市の監察課

自治会未加入者へ必要な情報伝達方法は

答弁 デジタル回覧板活用の市町村へ自治会ＤＸの調査を行う



中村晶代 議員

問 近年、生活様式の多様化等に伴い、自治会未加入者が増加し隣組が解散した地域もある。地域住民からは回覧板が無くなり、身近な防災情報や日常の行政サービス等の情報が届かず不安との声を聞く。総務省は自治会ＤＸとデジタル回覧板の普及を推進し、近隣市町村でも広がっているが、本市の取り組みは。

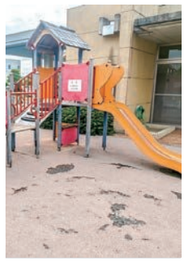
答 自治会加入・未加入に関わらず、市民の生命と財産を守るための情報を公平に届けることは市の責務である。広報ふくつや市公式ライン等で全世帯への情報伝達に努めているが、地域の身近な情報は紙の回覧板が基本で、デジタル版利用は少数である。近隣市の先進事例を調査したい。



▲紙の回覧板とデジタル回覧板の併用を進めては

宮司コミセンに新たな遊具の設置は

答弁 新たな遊具を設置する計画はないが老朽化対策が課題



▲設置後22年経過している宮司コミセン遊具

問 市内にはボール遊びができる公園が少ない。ボール遊びができる公園を作る計画はあるのか。

また、公園の複合遊具は木製が多い。今後、樹脂製の複合遊具を取り入れていく考えはあるか。宮司コミセンも設置後22年経つ遊具が一つあるが、他の遊具や自然を利用して遊ぶようなものを設置する考えは。

答 新たにボール遊びができる公園を整備する計画はない。樹脂製の複合遊具については、地域にある公園の遊具の更新を考える際には、公園の広さ等も含めて考慮していく考えである。宮司コミセンについては、今回の提案を参考にしながら、適正な維持管理に努めていきたい。



秦 浩 議員

公共下水道事業の課題と今後の見通しは

答弁 一般会計への依存度が高く、市全体の事業に大きく影響



▲基幹インフラ施設
福間・津屋崎浄化センター

問 公共下水道事業は公営企業で、独立採算の原則が適用される。今後10年の事業費見込みと、現在の使用料水準の見解は。

また、市全体の事業への影響をどう考えるか。

答 独立採算が原則だが、一般会計に依存せざるを得ない状況。10年間で事業費約１３４億円が必要。本来、使用料で維持管理費や施設更新費を賄う必要がある。現在の使用料は、適切な水準には達していない。

市の事業全体に大きな影響を与えることを懸念。将来にわたり安定した下水道サービスを提供するために、料金改定は避けられない。経営の効率化や経費削減に努め、使用料改定の時期を見極め、判断していく。

中村 清隆 議員

生活困窮者自立支援事業の拡充は

答弁 必要に応じて見直しながら福祉行政を推進していく



▲生活困窮のご相談は生活支援課へ

問 物価高騰や雇用環境の変化により生活困窮リスクが高まっている。また、経済的困窮だけにとどまらず、社会的孤立、就労不安、家庭環境等の複合的な課題を抱えるケースが増加している。

国の調査では、福岡県下56自治体で実施されている就労準備支援事業が、本市を含む４市のみ未実施であった。本市の自立支援事業は、複合的な課題に対して十分に対応できているのか。

答 就労準備支援事業は国の補助事業としては未実施だが、自立相談支援事業において一体的に実施している。財政や地域資源の限られた制約の中で、市民を置き去りにしないセーフティーネットを更に推進する。



井手口 忠信 議員

企業誘致には減免措置が必須と考えるか

答弁 減免措置より土地の価格・利便性・市の相談窓口が重要



▲これから始まる企業誘致策！

問 近隣市では、３年間の固定資産税減免などの企業を誘致するための施策を持ち合わせている。企業誘致を本市でも積極的に行い、本市を選んでもらうには、近隣市のような優遇措置が必須であると考える。本市の見解は。

また、企業への税制優遇措置を策定するのか。

答 県の企業立地課に助言を受けた際、企業が選ぶ土地の条件は、土地の価格と利便性、そして市に相談窓口があり円滑なやり取りができることが重要であると伺った。税制の優遇などは補助的要因とのこと。今年度、相談窓口を創設し、選ばれる体制づくりを始めた。

税制優遇については、今年度中に条例を策定する予定である。



大山 隆之 議員

新設小学校の通学路整備の課題と対策は

答弁 開校以降も継続的な対応が必要、対策の改善と充実を図る



佐伯 美保 議員

問 三辻川と手光今川の合流地点の三辻川6号橋は車の離合地点にもなっている。通学路としての課題や路側帯の設置、車の時間帯規制は。

また、通学路についての説明会や情報発信は。

答 道路幅が4m程度と狭いにもかかわらず、交通量が多いことに加え、車両運転者からの視認性を確保しづらいことが課題である。外側線による歩行者空間の明示を計画している。時間帯規制は地元の合意がないとできないため予定はない。

説明会は、7月2日と8日、年明けに行う。未就学児の保護者には年明けに行う。また、保護者には事前登録をお願いし、メールでの情報発信に努めたい。



▲新設小学校前の道路幅が狭い三辻川6号橋

他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
秦　浩	小中学校のプール施設について
中村　清隆	スポーツをする環境について
	市職員の働く環境について
倉元　敏徳	産廃処理場及び雑品スクラップ事業所等の課題に対する対応について

議員名	その他の質問
榎本　博	福津市中小企業振興基本計画について
	津屋崎地区観光施設整備事業について
	大峰山キャンプ場の運営について
山本　祐平	学校給食におけるアレルギー等の対応について
中村　晶代	公共施設の予約の流れについて
	災害発生時の安全対策について
岩下　豊	地域公共交通の充実について
豆田　優子	学びの機会をすべての子どもに保障するための取り組みについて
尾島　武弘	古墳の管理について
戸田　進一	豪雨対策について
	地域経済のにぎわいづくりについて
佐伯　美保	小中学校の学校図書館の整備状況等について
	松林への薬剤散布等について



コラム 議会提出議案ってなに？

議案には、市長が提出するものと議会が提出するものがあります。このうち議会が提出するものは、議員や委員会が発議または動議により、条例改正案や予算修正案、意見書提出案などを議会に提出します。

議員や委員会の発議等により提出された議案は、市長が提出した議案と同じく議会で審議され可否が決定されます。今回の「福津市議会基本条例の制定について」も議会運営委員会からの発議により議案提出されました。議員等が議案を提出することは、議会自らが必要な条例の制定・改廃や予算案の修正などをするための大切な仕組みです。



制度拡充が必要でも２年間はしないのか

答弁 必要な福祉施策は財源内で最適化を図り、優先順位で判断



▲障がい福祉に関するアンケートの結果

問 市の障がい福祉に関するアンケート結果では、「経済的な援助を増やしてほしい」が最多だった。これに対する見解は。

また、障がい福祉サービスの自治体間格差も課題。解消すべきでは。

訓練用ベッド購入費補助制度は年齢制限で使えない。家族負担軽減が目的の在宅レスパイト事業は年間48時間の利用枠では足りないなど、今困っている市民がいる。制度の拡充等が必要では。

答 地域で安心して暮らすには経済的安定が重要だと深く認識している。

障がい福祉サービスの自治体間の格差是正は当事者の声を聞き研究する。

制度拡充はまず施策内で最適化が重要。最終的には優先順位で判断する。



岩下 豊 議員

乳幼児保護者への香害の周知啓発方法は

答弁 乳幼児健診時のポスター掲示・園長会での周知は可能



▲国会（議員会館）でもパネル展を開催

問 香害の被害が大きくなる要因に「香り長持ち」がある。これは、マイクロカプセルに入った香料（化学物質）がカプセルの破れたタイミングで飛散するためと言われている。乳幼児の保護者に対しても香害の周知啓発が必要であると考えるが、市の見解は。

フレグランスフリー宣言は財政が厳しくても予算なしで実行できるが、検討できないか。

答 乳幼児健診時にポスター掲示などでの周知は可能。また、保育園等に向け、園長会での周知は可能である。公共施設を中心に着実に周知・啓発を進めていく。

フレグランスフリー宣言については、慎重な判断が必要だと考える。



豆田 優子 議員

農業用水路の土砂堆積の浚渫状況は

答弁 大規模な浚渫（しゅんせつ）は国や県の補助財源を活用し進めていく



▲土砂が堆積し雑草が生い茂っている農業用水路

問 農業用水路に土砂が堆積している箇所が多くある。浚渫には多大な経費がかかり、すべてに対応するのは難しいとは思うが、市の状況を伺う。

また、令和8年度に国や県の補助金を活用した農業施設に関する事業と、今後補助金申請を予定している事業を伺う。

答 小規模な浚渫は行っているが、大規模なものは国や県の補助財源を活用し事業を進めていく。

補助金での事業は、ため池廃止工事設計、防災ため池の耐震・劣化調査、昨年の豪雨で被災したため池等の災害復旧工事、堀切樋門の改修工事、排水機場の整備事業等。今後は圃場（ほじょう）の大区画化等加速化支援事業補助金を申請し、事業着手したい。



尾島 武弘 議員

豪雨災害検証を次の備えにつなげるには

答弁 河川監視カメラ等を設置し巡回点検、社協と連携を進める



▲まだ復旧半ばの被災箇所がある

問 昨年の豪雨災害で被害を受けた地域では、今年の出水期を迎え、「また雨が降ったらどうなるのか」という不安の声がある。検証を次に生かすために、どう取り組んだのか。また、災害時にボランティアが安心して活動できるよう、平時から災害ボランティアセンターの設置訓練や役割確認を進めるべきでは。

答 県が本木川に監視カメラと水位計を設置、市では28カ所に浸水センサーを設置、危機管理課の体制強化等を行った。復旧中など重点的に警戒すべき箇所は、豪雨時や豪雨後に巡回点検を行う。災害ボランティアセンターの設置訓練の予定はないが、社協と協議し、相互の連携等を進める。



中村 恵輔 議員

危険個所と指摘の通学路の安全対策は

答弁 指摘の危険個所は、学校に確認し必要な部局と相談する



▲交通量が多い道路を横断している状況

問 福間小学校区内で、危険個所と声が寄せられた市道浜田橋・花見線の花見の里三丁目付近で交通量調査を行った。横断に6・5秒かかる道路幅に対し、4・9秒に1台の交通量。児童は横断歩道がない道路を渡るが、現地確認は。また、西福間の福間郷づくり交流センター付近の地点は速度抑制のハンプ（段差）を設置すべき。どちらも通学路交通安全プログラムで危険個所として指摘されていた。早急な対策は。

答 市道浜田橋・花見線は過去に危険個所と指摘された時、現地確認はしていない。西福間の通学路にハンプ設置の提案だが、地域住民の承諾も必要。いずれにしても学校に確認し協議を始める。



戸田 進一 議員